

酒造好適米「山田錦」の県内における生育特性

福島県農業総合センター 会津地域研究所、作物園芸部稲作科

1 部門名

水稲—水稲—品種

2 担当者

佐藤弘一・新妻和敏・吉田直史・高橋元紀・影山浩昭

3 要旨

酒造好適米「山田錦」は、葉齢の進んだ成苗ポット苗移植や移植時期を早めることにより、稚苗移植や5月中旬移植よりも、出穂期を6～8日早めることができる。しかし、出穂期が遅いため登熟期間の気温の影響が大きく、玄米品質は劣る。

(1) 成苗ポット移植では、稚苗移植よりも出穂は6～8日早まる(表1)。

(2) 移植時期を5月上旬にすると、5月中旬移植よりも出穂期は6日程度早まる(表1)。

(3) 苗質や早期移植により出穂期が早まっても登熟期間の気象によっては成熟期に至らない場合がある(表1)。

(4) 玄米品質は、出穂後40日間の平均気温が20℃以下になると整粒歩合が低下し、検査等級は規格外となった(図1)。

表1 酒造好適米「山田錦」の苗質、移植期と生育ステージ、収量および玄米品質

試験場所	年次	苗質	育苗方法	移植日 (月/日)	移植時 葉齢	出穂期 (月/日)	成熟期 (月/日)	精玄米重*1 (kg/a)	検査等級*2 (1-6)	整粒歩合*3 (%)	心白率*4 (%)	青未熟粒*5 (%)
会津 坂下	H28	成苗	ポット育苗	5/18	4.2	8/21	10/11	46.7	3.0	79.1	20.3	0.5
	H29	成苗	ポット育苗	5/16	5.1	8/21	10/20	64.1	6.0	64.2	28.7	12.8
	H30	成苗	ポット育苗	5/15	4.2	8/17	10/9	51.8	5.0	83.6	22.1	1.1
	H28	稚苗	箱育苗	5/18	2.6	8/27	10/17	56.2	3.0	77.0	19.7	0.3
	H29	稚苗	箱育苗	5/16	2.7	8/26	10/27	62.2	6.0	63.7	26.2	12.9
	H30	稚苗	箱育苗	5/15	2.2	8/25	10/15	54.3	5.0	77.7	19.8	2.7
郡山	H28	稚苗	箱育苗	5/2	2.5	8/25	未達	46.0	5.0	-	-	-
		稚苗	箱育苗	5/16	2.5	8/31	未達	43.8	5.0	-	-	-
	H29	成苗	ポット育苗	5/1	3.8	8/16	10/8	55.7	4.8	56.1	34.4	14.2
		稚苗	箱育苗	5/1	2.2	8/24	10/17	56.4	5.0	47.6	37.2	19.6
	H30	成苗	箱育苗	5/2	3.4	8/25	10/22	50.7	5.0	59.6	37.2	1.4

*窒素施肥量(kg/a)は、会津坂下は基肥0.5、郡山は基肥0.4-追肥0.2、栽植密度20.8株/m²(手植え)

*1 精玄米重は篩目2.0mm、水分15%換算

*2 検査機関による6段階評価(1:特上、2:特等、3:1等、4:2等、5:3等、6:規格外)

*3~5 穀粒判別器(サタケ製:RGQ110)により測定

*4 心白率は心白整粒/整粒×100

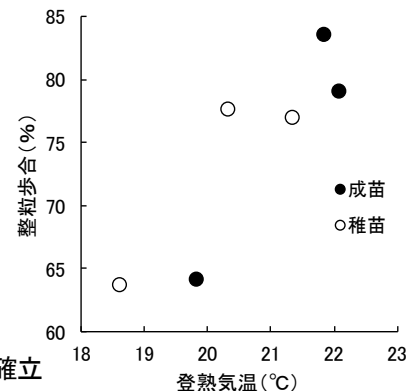


図1 会津地域における登熟気温と整粒歩合との関係

* 登熟気温: 出穂後40日間の平均気温

* 平均気温: 会津地域研究所気象観測データ

* 整粒歩合: 穀粒判別器(サタケ社製:RGQ110)により測定

4 成果を得た課題名

(1) 研究期間 平成28年度～30年度

(2) 研究課題名 県オリジナル酒造好適米育成加速化と酒米品質向上技術の確立

(3) 参考となる成果の区分 (終了参考)

5 主な参考文献・資料

なし